

令和8年度 指導計画・評価規準 2学年 教科名【技術・家庭科 技術分野】 使用教科書【東京書籍】							
学期	学習指導要領と単元名	学習内容	配当 時数	観点別評価規準			主な評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	3編1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ④電気回路について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換効率 ・発電の仕組みと特徴 ・電気料金換算 ・電源の種類と特徴 ・送電と発電 ・電気エネルギーの活用 ・電気の安全利用(送電・感電) ・機会が運動を伝える仕組み 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支えているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みや特徴、送電・配電の仕組みについて理解している。 	エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能 ・ペーパーテスト ・作業プリント ・ワークノート ・実技テスト ・作業の取り組み ・レポート ・小テスト
2	3編2章 エネルギー変換の技術による問題解決 ①はんだ付けに関する知識と技能 ②問題を発見し、課題を設定しよう ③電気回路を設計・製作しよう ④機構モデルを設計・製作しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ製作 ・電気回路、電気用図記号、回路図 	13	部品を適切に調整しながら組み立て、製作にすることができる技能を身につけている。	問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表現 ・発言 ・ワークノート ・作業の取り組み ・レポート
3	3編1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機会が動く仕組み ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう ⑥運動エネルギーへの変換と利用	<ul style="list-style-type: none"> ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途 ・回転速度と回転力の関係 ・リンク機構、カム機構の仕組み ・機会の共通部品 ・保守点検 ・機会の運動の種類とエネルギー変換(直線運動、回転運動、揺動運動) ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 	10	回転運動を伝える仕組みと用途、リンク機構やカム機構について理解している。			<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組む態度 ・発言 ・ワークノート ・作業プリント ・作業の取り組み ・レポート
	3編3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 ①エネルギー変換の技術の最適化 ②これからのエネルギー変換の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ・エネルギー変換のプラス面、マイナス面を考え、最適化の検討 ・持続可能な社会の構築の検討 	2	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。	エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。		
	4編1章 生活や社会を支える情報の技術 ①身の回りの情報の技術 ②コンピュータの仕組み ③情報のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの技術 ・コンピュータの5つの機能 ・ハードウェアとソフトウェア ・情報のデジタル化 ・情報のデジタル化とデータ量 	3	コンピュータの仕組みと基本機能、情報をデジタル化する仕組みについて理解している。	情報をデジタルする方法とデータ量との関係について考えている。	主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。	